
先輩...好きです。

りす君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

先輩…好きです。

【Nコード】

N2883B

【作者名】

りす君

【あらすじ】

“あなたが好きです。”好きの気持ちがつづり詰まったこの短い文を、恥ずかしさのあまり意中の異性に伝えられないのが、淡い恋心を持つ人間である。これは、この言葉がなかなか言えずに後悔していた、一人のヒトを密かに思い続けている少女の淡い恋の話…

（前書き）

異性を好きになる気持ちは誰にでもある。しかし、恥ずかしがってなかなか意中の異性に“好き”と言えない。大抵の人間がそうであり、この小説の主人公もそうである…

“あなたの事が好きです”

… たった、これだけの言葉。何故、言えないんだろう…。

この短い言葉の中に、好きという気持ちがいっぱい詰まっているから、恥ずかしくて言えないのかも…。

私は、高校１年でサッカー部のマネージャーを務めている。そこには、私の好きなヒトがいる。それは、いつも私の目の前で一つのサッカーボールを一生懸命追い掛けているあの先輩だ。

入部した当初、部のマネージャーとしてまず何をすれば良いか解らずにオドオドしていたら、先輩が私に声を掛けてくれて、優しく一からゆっくりと教えて貰えた時は凄く嬉しかった…。

いつの間にか私は、先輩の事を本気で好きになってしまっていた…。部員の皆にも優しい先輩。けど、自分には厳しくして、自分からチームの力を高めている姿は本当に心から尊敬してしまう…。

私は、なかなか告白せずにいた。

“このままだと、好きな気持ちを伝えられずに終わっちゃう…”

私は友達に相談する事にした。友達は熱心に聞いてくれて、私を勇気づけてくれた。私は決心した。思い切って告白してみよう、と。

部活終了後、私は意を決して先輩を校門に呼び出した。先輩は、着替えやミーティングなどがあつたので、私は先に制服に着替えて

校門の近くで待っていた。そして数分後…、

「お待たせ、何か俺に用かな？」

私はその言葉に振り向くと、先輩は凜として立っていた。私はその姿に見とれてしまった…。

「おい。大丈夫か、マネージャー？」

「…ふえ?! いや、大丈夫ですう…」

先輩の声で我に返る私。

“ああ、恥ずかしいよお…。”

「で、話は何かな？」

「じ、実は…」

“あなたが好きです！ 今しか無い…言っで、私！”

「先輩！」

「な、何だよ…」

「私、先輩の事が…」

（ドン）

「キャッ！」

私は、不意に後ろから走ってきた人にぶつかられて、よろけてしまった…。

「あー、わりいわい。つい急いでたもんで。じゃあな！」

私は、体勢を立て直した。

“ あっ…良かった。 どこも怪我して無かつ…って、あれ？”

気が付くと、何と私は先輩の身体に密着していたのだ…。

「大丈夫か、マネージャー？」

「えっ、あわわわ…ご、ごめんなさい！」

「別に良いけど…。で、話って何？」

今だ、こんなに接近した中で言わなければ絶対に後悔する。 私は
勇気を振り絞った。

「わたし…、先輩の事が大好きですっ！」

“ 言ってしまった…。 ”

私は、途端に恥ずかしくなり顔が熱くなった…。

「あ、ありがとう…」

と、照れながら言った先輩の可愛い姿に、今度は私から自然と先輩に身体を寄せていた。その間、テレビドラマの演出のように本当に時が止まってしまったのかと感じた…。

“ 嬉しい…。これで先輩とずーと一緒になんだ…。 ”

この瞬間、私は最高に幸せだと思った。

今なら、はっきり言えちゃう。私から先輩への好きの気持ちを…。

「先輩。私、あなたが大好きです。心から愛してます…。」

（後書き）

この小説をお読み下さり、誠にありがとうございました。時間があ
りましたら是非、評価・感想などをして下さい…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2883b/>

先輩...好きです。

2010年10月10日07時31分発行